

令和 5 年 3 月 16 日

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長職務代理者
大分市副市長 久 渡 晃

~~大分市長 佐藤 樹一郎 殿~~

所在地 大分市花津留2-15-8
団体名 大分市表千家こども茶道教室
実行委員会
代表者氏名 出 田 昌 子
電 話 0 9 7 - 5 5 8 - 7 2 1 0
担当者

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 交付決定年月日 令和 4 年 9 月 1 日
交付決定番号 協働第 896 号
2. 事業名 こども茶道教室
3. 補助金の交付決定通知額 162,390 円
4. 補助金の概算交付額 0 円
5. 補助金の精算額 152,217 円

6. 事業の成果

小・中・高生を対象に400年以上の歴史ある伝統の茶道文化の活性化と継承を目的に「こども茶道教室」にて、年10回に亘って受講生21名に茶道（合理的な精神やおもてなしの心）の作法や点前を実技指導し、併せてお稽古を通して現代社会の日常にも通用し活かされるよう指導する。受講生も事業報告書の実技内容の通り繰り返し習得した成果を例年受講終了日の保護者参観の発表茶会にて実施していたお点前や作法の披露がコロナ禍の為中止となり、他の催事への体験参加も出来ずに茶道教室を終了することになったが、受講生それぞれに茶道に触れて身に付いたものを自身の生活の中に取り入れ活かされていると思う。また継続して受講の子供達が増え、継承者として育ちつつある等々の成果が見られた。今後も本事業を通して子供達の情操教育や健全育成に寄与し地域の活性化にも協力し伝統の茶道文化の活性と継承普及を推進していきたいと思っています。

7. 添付書類 (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
(2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
(3)活動目標に関する報告書
(4)その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団 体 名	大分市表千家こども茶道教室実行委員会			
事 業 名	こども茶道教室			
主な活動地域	<p>※ 該当する□にチェックしてください。【】の中は校区となっています。</p> <p> <input type="checkbox"/> 大分中央【金池、荷揚、長浜、中島、住吉】 <input type="checkbox"/> 大分西部【春日、大道、西の台、八幡】 <input type="checkbox"/> 南大分【豊府、南大分、城南、荏隈】 <input type="checkbox"/> 滝尾【滝尾】 <input type="checkbox"/> 城東・原川【津留、東大分、日岡、桃園】 <input type="checkbox"/> 明野【明野】 <input type="checkbox"/> 鶴崎【鶴崎、三佐、別保、明治、高田、松岡、川添】 <input type="checkbox"/> 大南【戸次、判田、竹中、吉野】 <input type="checkbox"/> 植田【植田、宗方、横瀬、東植田、寒田、敷戸、駕野、賀来】 <input type="checkbox"/> 大在【大在西、大在】 <input type="checkbox"/> 坂ノ市【坂ノ市、小佐井、丹生】 <input type="checkbox"/> 佐賀関【本神崎、木佐上、大志生木、佐賀関、一尺屋】 <input type="checkbox"/> 野津原【東部、中部、西部、今市】 <input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 </p>			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等) ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受 益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 令和5 1月 2月	コンパル ホール 2階 茶室 (14畳 ・8畳)	167人 (延べ 人数)	<p>3月中旬より小中高生を対象にロコミ等により受講生を募集。4月末募集締切るが以降も随時募集し受講生を受け入れる。</p> <p>5月14日(土)「こども茶道教室」を開講、月1回(第2土曜日)年10回、受講日の時間割(9~10時・茶室設え・受付、10~12時・実技、12~13時・茶室茶道具片付け)によりコロナ感染対策をはかりながら実施。受講生21名を年長組(小4年生以上)12名は茶室14畳で、年少組(幼稚園生含)9名は茶室8畳にて講師12名で伝統の茶道文化(合理的な精神・おもてなしの心)を理解し触れて日常生活のなかにも活かされ普及継承されることを目的に実技(下記)指導する。</p> <p>実技内容・立ち居ふるまい(おじきの仕方、座り方、立ち方、まわり方、歩き方)、基礎割り稽古(帛紗捌き、茶器茶杓の拭き方、茶筌通し、茶巾のたたみ方)お茶お菓子のいただき方、席入り(茶室の入り方、床の間の掛軸・花・花入れの拝見)や道具の拝見の仕方・扱い方等の客の作法、略盆点前、炉 風炉の薄茶点前を繰り返し習練する。毎回、床の間の掛軸、花、花入れやお菓子、道具等四季折々の節目や行事に因んだものを取り入れる。掛軸の字句、読み方や意味、茶花の名前等をわかり易く説明し茶道にまつわる話をする。尚、実技中はマスク着用、お茶は自服(自分で点てたお茶をいただく)する</p> <p>令和5年2月11日受講最終日、実施予定の保護者参観の式典と発表茶会はコロナ感染状況から取りやめ、受講生には「修了書」を授与し、通常の実技指導をもって「こども茶道教室」を終了する。</p>

<p>使用した 広報手段と その効果</p>	<p>使用した広報手段（チラシの作成、ホームページ、パンフレットの作成等） コロナ禍のなか、前年度受講した子供達と保護者やその友人と保護者等を対象に、口コミ、ハガキによる受講案内等により、感染状況を配慮し広報活動をする。</p> <p>今年度行った広報の効果 前記の広報手段（口コミ、ハガキによる受講案内）により、目標人員 20 名を超える受講生を確保することができた。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>地域への効果について（事業を実施した結果、対象地域にどのような効果があらわれたのかを、できるだけ詳細に記入してください。） 前年より引き続きコロナの影響で地域の催事の自粛や中止で市民の皆様方が茶道文化に触れる茶会（平和市民公園の人と緑のふれあい茶会）も中止となり「こども茶道教室」の受講生の体験参加や茶道を通しての地域への貢献、活性化等の活動の機会がなかったことにより実績が無く効果得られず。</p> <p>市民への効果について（市民にとってどのような効果があったか、市民福祉の向上にどうつながったのかを、できるだけ詳細に記入してください。） こども茶道教室の受講生は大分市内の春日・八幡校区のほか日岡、明野、明治、大在校区の子供達で保護者共に茶道の合理的な精神やおもてなしの心が日常生活にも活かされ通用することに理解を深め、作法やお点前の動作が合理的で無駄がなく相手を思いやる心が込められた実技（前頁）を繰り返し稽古し習練体得し継続することによって自然と身に付いたものを子供達（受講生）自身の成長過程の中で様々な場面や形となり活かされると思う、また、成果として継続して受講している子供達が増え、将来の継承者として育ちつつある。</p>
<p>来年度に 向けた課題</p>	<p>コロナ未収束のなか、受講生の募集には前年実施した広報活動（継続して受講の子供達、保護者への口コミ、ハガキによる受講案内等）により、目標受講者数（20 名、延べ 200 名）の確保に努めるがそれ以上の受講生の受け入れはコロナ防疫対策上会場（茶室）の収容人数が限定されるため増員出来るか対応検討が生じる。また、実技内容、指導方法に防疫対策（マスク着用の緩和）を段階的に対応しながら「茶道教室」の運営に当たる。</p>

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業の名称： こども茶道教室

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	152,217	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	50,100	こども茶道教室参加会費300円×167人
事業収入		
寄附金収入		
その他	52,117	会員負担金
合 計	254,434	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
謝 金	70,000	講師謝金 10回分 10,000円×7名
教 材 費	109,233	抹茶代 5缶 21,545円 菓子代 71,690円 茶筌代 5本 6,000円 紙茶巾代 17袋 (20枚入) 5,450円 懐紙代 5束 1,450円 柄杓代 1本 3,098円
消 耗 品 費	7,866	プリンターインク代 3,445円 文具代 3,226円 (コピー用紙、マット紙、ノート他) コロナ防疫用品代 1,195円 (除菌スプレー、除菌シート他)
通 信 費	1,405	はがき代 945円 郵送料 (封書) 460円
保 険 料	17,020	スポーツ安全保険料 16,800円 手数料 220
会 場 費	48,910	コンパルホール使用料 40,560円 茶室 (14畳・8畳) 冷暖房料含む 茶道具借料 1点50円×167点 8,350円
備品購入費		
合 計	254,434	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

活動目標報告書

1 自己収益（※）拡大に向けて

(1) 目標としていた自己収益金の総額 円

(2) 今年度の自己収益金の総額 円

(3) 自己収益拡大に向けた具体的な取り組み
(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

コロナ禍の中、実施した広報活動（前年度受講した子供達や保護者、その友人や保護者等を対象に口コミ、ハガキによる受講案内等）により目標（20人/月1回）を超える受講生の確保が出来たが会費収入は受講実績人数（月平均参加者数 17人）が目標を下回ったことから減攻となる。

記入例：①会員加入の呼び掛けを行った結果、入会者の獲得に成功し、会費収入を増加させることができた。

②協賛企業の呼び掛けをこれまで以上に実施してきたが、景気の流れに左右されることもあり、新規開拓はできなかった。

③来年度も企業への呼び掛けを継続し、企業協賛金の拡大に努めていきたい。 など

2 受益対象者を増加させるための取り組み

(1) 目標としていた受益対象者数 人（延べ人数）

(2) 今年度の受益対象者数 人（延べ人数）

(3) 受益対象者数の増加に向けた具体的な取り組み
(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

コロナ禍の中、上記の広報手段により受講生の確保が目標通り達成したが保護者参観の発表茶会や地域の催事の中止による市区民参加の茶会等々の中止により受講生以外の受益対象者減が影響し目標達成に至らなかった。次年度はコロナ防疫対策の緩和による中止していた発表茶会や地域の催事や付帯の茶会、公民館や学校茶道等の再開により参加者が見込めるため、受益対象者数が増加すると思われる。